

第2学年 英語科学習指導案

平成31年1月31日(木)第5校時

坂戸市立若宮中学校 被服室

授業者：

A L T：

1. 単元名 New Horizon English Course2

Unit 6 "Rakugo in English" (英語での落語)

2. 単元について

(1) 教材観

本単元では、日本の伝統芸能である落語を取りあげ、英語で演じる取り組みによって落語が世界に広まりつつあることを紹介する教材である。Dialogは外国の人に自国の文化を紹介する対話の良い例であり、物事を説明するthere is構文を活用することができる。また、目的語と主語の働きをする動名詞が扱われ、これらを用いて事物を説明する言語活動が展開できる。

本課は、Activity1として、「インタビューを聞こう」、Activity2として「部屋の様子を説明しよう」となっている。Unit6で学習した“There is”や、今までに学習した疑問詞が本課では多く出てくる。学習した内容が定着しているかを確認し、応用していける課である。

小学校では、一問一答での会話を基本に練習を積み重ね、中学校1年生では「自己紹介」や、「1日の生活」というPresentationの課で質問をする形を練習してきた。今までの学習を踏まえ、自然な形のActivityに取り組ませたい。

(2) 生徒観

<省略>

(3) 指導観

導入としては、日頃から行っている歌やDaily Conversation, Small Talkなどを行う。本時で主に使用する言語材料の“There is”をSmall Talkから触れていく。

展開では、前時の復習をした後、パターンプラクティスで練習を重ねる。その後、グループになり「夢の部屋」についての説明と質問の練習を重ねる。最後には、発表の場を設け自然な形で会話ができるように指導していきたい。

今まで学習した内容の復習でもあるので部屋についての説明をしっかりと行い、質問をする生徒は内容を正しく理解したうえで質問できるように活動に取り組ませたい。

3. 学校研究主題との関連

本校の学校研究主題は「学び合い学習を主とした授業改善－主体的な学びを促し、思考力・判断力・表現力を育む教育活動の在り方－」である。本研究主題のもと、2年間にわたり「学び合い」の学習の研究を深めてきた。学び合いに関しては「話し合う」だけが学び合いではなく、主体的に学習に取り組むことを学び合いとして、授業形態の工夫やグループの形、授業の展開の工夫など、教員自身も率先して主体的な学び合いを進めてきた。

英語科においても、授業の多くの場面で主体的な学び合いを取り入れた授業を行ってきた。本時においても、グループごとの会話練習や、自然な形の質問など学び合いを通した主体的な授業を行う。

4. 単元の目標

(1) (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

仲間と英語を使ったコミュニケーションを積極的に行うようにする。

(2) (外国語表現の能力)

There isの構文を使い、事物を説明することができる。聞いたことに対し、疑問詞を使い質問することができる。

(3) (外国語理解の能力)

説明やインタビューを聞いて、理解することができる。

(4) (言語に関する知識)

文構造を理解できる。

5. 単元の評価規準とCanDoリストとの関係

【単元の評価規準】

ア:コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ:外国語表現の能力	ウ:外国語理解の能力	エ:言語や文化についての 知識・理解
【言語活動への取組】 「話すこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。	【正確な発話】 話そうとすることを聞き手に正確に伝えることができる。	①【正確な聞き取り】 聞いた内容について正しく内容を聞き取ることができる。 ②【正確な読み取り】 読んだ内容について正しく内容を理解することができる。	【言語についての知識】 語句や文、文法などに関する知識を身につけている。

【関係する Can Do リスト】

外国語表現の能力	外国語理解の能力
Speaking (speech / interaction)	listening
<ul style="list-style-type: none"> 自分の町を紹介するスピーチができる。 自分の町など、身近な話題について、意見とその理由をふくめてやり取りすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 天気予報やニュース、友達の町紹介についてのスピーチなどを聞いて、概要や要点を聞き取ることができる。
Writing	Reading
<ul style="list-style-type: none"> 自分の町紹介など身近な話題について、その特徴などを説明する文を4文以上で書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 物語や説明文を読み、その主な内容を読み取ったり、気持ちを込めて音読したりすることができる。

6. 指導と評価の計画

時間	◆ねらい・学習活動	単元の評価規準	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> ◆英語落語の公演ポスターを呼んで、日時・場所や、掲載写真について描写する英文の内容を理解することができる。 ポスターからの情報を読み取る。 	ウ②	観察法
2	<ul style="list-style-type: none"> ◆落語の会場にあるものや、自宅の近くになどにある施設についてたずねたり伝えたりすることができる。 Daialogから落語について話されている内容を理解する。 グループになり、自宅の近くなどにある施設について伝える。 	ウ① イ	ワークシート
3	<ul style="list-style-type: none"> ◆英語落語の公演パンフレットを読んで、落語の海外への広まりについて理解することができる。 ある程度まとまった量の英文を読み、QAに答える。 内容についてグループでシェアする。 	ウ②	教科書への書き込み
4	<ul style="list-style-type: none"> ◆英語落語の小断を読んで、その内容を理解したり、落語の内容のおもしろさが相手に伝わるように音読したりすることができる。 グループで、役割を演じながら発表を行う。 	ア・イ	発表
5	<ul style="list-style-type: none"> ◆インタビューを聞いて理解することができる。 英語落語家へのインタビューを聞いて理解する。 自分が質問をするならどのような質問をするか考える。 	ウ①	教科書への聞き取り
	<ul style="list-style-type: none"> ◆部屋の様子を聞いて理解できる。 部屋についての説明を聞き、どの部屋について話されているか理解する。 	ア	観察法
6 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ◆「夢の部屋」を紹介する。 夢の部屋について説明する。 部屋の説明に対して、質問をする。 	ア・イ	発表
後日	<ul style="list-style-type: none"> ◆文構造を理解しているか。 定期テストにて確認する。 	エ	定期テスト

7. 本時の指導

(1) 本時のねらい

There is / are の表現を使って、夢の部屋を表現できる。
既習事項の疑問詞などを使い、簡単な質問ができる。

(2) 本時の評価規準

- ①「話すこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。
- ②話そうとすることを、聞き手に正確に伝えたり、質問したりすることができる。

(3) 資料、教具等

CD, PC, プロジェクター

(4) 本時の展開

過程	学習活動《学習形態》・学習内容	評価規準との関連	◇指導上の留意点 ○評価 △努力を要する生徒への手立て
ウォーミングアップ	1. Greeting 2. Song “We will rock you” 3. Daily Conversation <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> Q: How have you been? A: I've been fine. Q: How was your winter vacation? A: I enjoyed it a lot. Q: What did you do? A: I went to my friend's house. Q: What did you eat for New Year's Day? A: I ate <i>ozoni</i>. Q: Have you finished your homework? A: Yes, I have. / No, not yet. </div>		◇英語への切り替えを目指す。全体を観察・補助する。 ◇ペアで実施
	4. Small talk Q1 “Are there any DVDs in your room (house)?” Q2 “Which do you like, Japanese movies or American movies?” 5. Chant <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> A: What's on the table? What's on the table? B: There's a tank. There's a tank. There's a fish in the tank. A: Hey, look! Under the table! B: There's a cat! There's a cat! There's a cat under the table. </div>		◇3人組で実施 1分間で topic に沿った会話を行う。 ◇英語のリズムやイントネーションに慣れる。 ☆1分30秒で Unit6-1 からを読み終える。 →毎回の活動として実施
	6. Review of reading P80～		
展開	Today's goal: 夢の部屋を紹介しよう。 There is a computer on the desk. What do you use the computer for? / How many CDs do you have?		
	1. Practice the Dialog <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> A: There's a computer on the desk. There are no books on the sofa. B: I see. There's a bag on the sofa. Is that right? A: Yes, it is. B: So your room is Room A. A: That's right </div>		◇全体で確認したあと、ペアでのパターンプラクティスをする。

展 開	<p>2. Demonstration (JET and ALT)</p> <p>ALT : This is my dream room. ... JET: Do you like _____? ALT: Yes, I do. / No, I don't. </p> <p>JET : Well , thank you so much. I enjoyed talking with you. ALT: My pleasure.</p>		<p>◇取り組む内容について、生徒に示す。</p>
	<p>3. Make a Dialog</p> <p>Model Dialog</p> <p>A: This is my dream room. • There is a _____. • There is a _____. • There are two(three...)</p> <p>B: Is there _____? • Are there _____? • Do you have _____?</p> <p>A: Yes, there is (are). / No, there isn't(aren't). • Yes, I do. / No, I don't. • Yes, it is. / No, it isn't. • I like _____ because _____. • I want _____.</p> <p>C:How many _____ do you have? • Is <u>the bed</u> big (small)? • Which do you like _____ or _____? • Why do you want _____ ?</p> <p>A: I have _____. • Yes, it is. / No, it isn't.</p> <p>... 質問を繰り返す ...</p> <p>C: Well , thank you so much. I enjoyed talking with you. A:My pleasure.</p>	ア イ	<p>◇グループでの練習を行う。 できるだけ工夫した文の付け加えができるように指導する。 ・プリントについては、会話のための補助とするため、最初は配布しない。クラスの様子をみて配布する。</p> <p>△まずは、基本の対話文を読めるように支援する。</p>
ま と め	<p>1. Review the lesson</p> <p>2. Greeting</p>		<p>◇「話すこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。(観察法による評価) ○話そうとすることを、聞き手に正確に伝えたり、質問したりすることができる。 △声かけを行うなど手助けをする。</p> <p>◇本時に学習した内容を振り返りながら、学習の定着を確認する。 ◇本時の全体の評価を伝え、次回の授業への意欲を高める。</p>

8. 備考 生徒数 35 名

My dream room interview

Name ()

①

A: This is my dream room.

- There is a _____.
- There is a _____.
- There are two(three...)
_____.
- There are many
_____.
- _____.

②

B: Is there _____?

- Are there _____?
- Do you have _____?
- Do you want _____?
- _____?

③

A: Yes, there is (are). /
No, there isn't(aren't).

- Yes, I do. / No, I don't.
- Yes, I want _____ /
No, I don't want _____.

④

C: How many _____ do you have?

- Is the bed big (small)?
- Which do you like _____ or _____?
- Why do you want _____?
- What instrument do you want in your room?

⑤

A: I have _____.

- Yes, it is. / No, it isn't.
- I like _____ because _____.
- I want _____.

... ②～⑤の質問を何度かくり返す...

C: Well , thank you so much.
I enjoyed talking with you.

A: My pleasure.